

プロジェクトチーム・メンバー：野口靖(東京工芸大学インタラクティブメディア学科教授) 椎野若菜(東京外国語大学ソシアリカ言語文化研究所 准教授) 井本佐保里(日本女子大学建築デザイン学科 准教授) キティン・キニユア(上智大学ソシアリカ文化研究所 研究員)

レジリエント・ライフ： 強制撤去からの帰還と再建



Tales after Forced Eviction: Home, Resilience, Return, and Reconstruction

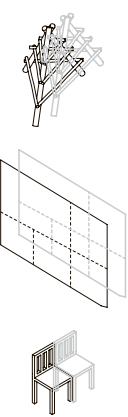


Sun, March 2 – Sun, March 23, 2025
Tokyo Polytechnic University,
Nakano Campus
Gallery 6B01,
Building 6



2025年3月2日(日) – 3月23日(日)
東京工芸大学
中野キャンパス6号館 ギャラリー6B01
12:00 – 18:00 月曜日休廊 入場無料

主催：東京工芸大学インタラクティブメディア学科野口研究室 共催：東京外国語大学ソシアリカ言語文化研究所 後援：東京工芸大学 本展は2024年度東京工芸大学芸術総合研究助成金の助成を受けている



レジリエント・ライフ： 強制撤去からの帰還と再建

Tales after Forced Eviction:
Home, Resilience, Return, and Reconstruction

本展示「レジリエント・ライフ：強制撤去からの帰還と再建」は、ケニアの首都ナイロビにあるムクル・クワ・ンジェンガを舞台に、行政により家を強制撤去された住民が元の土地に戻り住居を再建する姿を記録するプロジェクトである。展示は、Materiality of LivesとRebuilding Home and Dignityの2つのプロジェクトで構成されており、住民のレジリエンスやクリエイティブ・リユースの精神を提示しつつ、土地利用、貧困、行政上の問題といった課題にも目を向けている。

この展示は、アート、人類学、建築学、政治学など多分野の専門家が協働して成立している。インフォーマル居住区に関する調査が「支援や援助」の視点で語られることが多い中で、住民自身による家の再建を通して「人と住まいと社会」の関係を多角的に考察することを目的としている。また、日本の震災復興や地域再生の課題とも共鳴する視点を提供し、持続可能な社会やグローバルな人権問題について再考する契機となることを目指している。

2025年3月2日(日) - 3月23日(日)

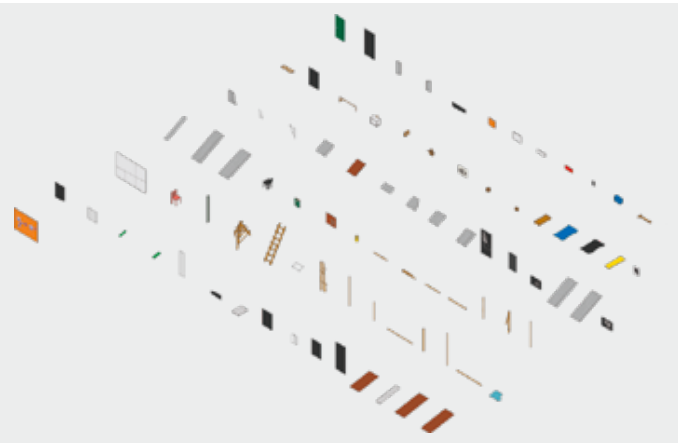
東京工芸大学
中野キャンパス6号館 ギャラリー6B01

12:00-18:00 月曜日休廊 入場無料

This exhibition, *Tales after Forced Eviction: Home, Resilience, Return, and Reconstruction*, focuses on the residents of Mukuru Kwa Njenga, an informal settlement in Nairobi, Kenya, who were forcibly evicted from their homes by the authorities but returned to rebuild their lives and homes. The exhibition consists of two projects, *Materiality of Lives* and *Rebuilding Home and Dignity*, which highlight the resilience and creativity of the residents while also addressing critical issues such as land use, poverty, and urban governance.

The exhibition is the result of collaboration among experts from various fields, including art, anthropology, architecture, and politics. While informal settlements are often discussed from a "support and aid" perspective, this exhibition aims to explore the multifaceted relationship between people, their homes, and society through the lens of resident-driven rebuilding. It also seeks to resonate with issues of disaster recovery and regional revitalization in Japan, offering perspectives that encourage reflection on sustainable societies and global human rights challenges.

展示作品 Exhibited Works



Materiality of Lives -86 materials, 27 elements and 4 lives
(井本・丘晴通・加藤幹基・キニユア・紺野夏帆子・鈴木福太・手島愛果・藤原すみれ・宮崎はなえ)

強制撤去後に自力再建された家屋を構成していた材料や部位を抽出し再構築することで、厳しい条件の中で発揮される住民のクリエイティビティや彼らのここに住まうことの誇りを表現する。材料、部位といったモノと対峙することを通して、強制撤去後の暮らしについて読み解いていく。



Rebuilding Home and Dignity
(野口・椎野・井本・キニユア)

住民による住居再建の過程を、インタビューと360度パノラマ写真で記録した。強制撤去を中心に彼らの人生を追ったインタビュー映像は、バーチャルツアー内に埋め込まれており、鑑賞者は住居の内外を探索しながら住民のライフ・ストーリーの語りにも耳を傾けることになる。

トークイベント Talk Events

「人と住まい：強制撤去からの再建」

2025年3月8日(土) 15:00-17:00

ゲスト：村津 蘭(文化人類学/映像人類学)、西尾美也(アーティスト)

「住まいと都市政策：
インフォーマル居住区が映し出す社会課題」

2025年3月22日(土) 15:00-17:00

ゲスト：小野 悠(都市工学)、溝口大助(文化人類学)

会場：東京工芸大学 中野キャンパス6号館 3階ALM(3月8日、22日)

★3月8日と22日は両日とも、ゲストとともにプロジェクト・メンバーが参加します。

★トークの内容やゲストは変更になる場合があります。

最新情報は公式サイトでご確認ください。

予約不要
参加無料
Admission Free

展示会場 Exhibition Venue



交通 Access

- 東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線
-中野坂上駅下車 徒歩約11分
- 1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、石田洋紙店の手前を右折

東京都中野区本町2-9-5
東京工芸大学 中野キャンパス6号館
地下1階ギャラリー 6B01
Gallery 6B01, Basement 1, Building 6,
Tokyo Polytechnic University, Nakano Campus

お問い合わせ Contact
E-mail: noguchi45213@int.t-kougei.ac.jp
Phone: 03-5371-2728

Design: Takasuke Onishi (direction 0)

公式サイト

Official Website <https://r-dimension.xsrv.jp/resilient-life>

